

## 【増補 史料大成 (正・続)】

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

花園天皇宸記 1・2  
伏見天皇宸記

〔増補史料大成 第2・3巻〕

■ A5判・クロス装・本文平均317頁・解題8頁・口絵5枚

全2冊 本体10,600円＋税

『花園天皇宸記』は延慶3年から元弘2年に及ぶ花園天皇の日記で、旧伏見宮家蔵の宸筆原本を正親町家伝本で補った。『伏見天皇宸記』は弘安10年から延慶4年に亘る伏見天皇の日記。旧伏見宮家伝来の8巻本に逸文を集めてこれを補った。鎌倉時代後半の政治史や宮廷文化を知る上でも重要な史料。

ISBN978-4-653-02201-5 [65/9] [91/6]

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

## 左 経 記

〔増補史料大成 第6巻〕

■ A5判・クロス装・本文449頁・解題5頁・口絵2枚

本体5,500円＋税

本書は、参議、源経朝の日記で、経頼記、糸東記とも称される。長和5年(1016)より長元9年(1036)に至るおよそ21年間の最も正確な根本史料であり、同時期を伝えている『小右記』の記載を補うものである。藤原家全盛時代の、政治・風俗・典礼を知る上には必要不可欠と言えよう。秘閣蔵本を九条家本で補い定本とする。

ISBN978-4-653-00520-9 [65/9] [98/4]

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

## 中 右 記

〔増補史料大成 第9～15巻〕

■ A5判・クロス装・本文平均393頁・解題6頁・口絵14枚

全7冊 品切

〈普及版〉(並製)本体9,500円＋税

『中右記』は藤原宗忠の日記で、宗忠公記、中右抄ともいう。寛治元年より書き始め、保延4年出家するまでに及ぶ。後世の規範ともなるような儀式、地方の状況、当時の風俗等を詳述しており、地方制度などの研究史料として不可欠のもの。本書は土勘兵衛献納本を近衛・九条両家所蔵本で補った109冊本を定本として、完璧を期している。

ISBN978-4-653-01687-8 [65/9] [96/4]  
〈普及版〉ISBN978-4-653-03790-3 [01/8]

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

## 三長記／同補遺

〔増補史料大成 第31巻〕

■ A5判・クロス装・本文277頁・解題10頁・口絵4枚

本体5,300円＋税

『三長記』は三条長兼の日記で、後鳥羽天皇の建久年間より、土御門天皇の承元5年に至る約20年間の記録である。長兼は少納言入道信西の外孫で、典故に通じており、朝廷の儀礼を詳録している。また、近衛・九条両家の間の争権、法然上人の流罪事件等を伝える貴重な文献である。内閣文庫所蔵9冊本を底本とし、諸本により校訂した。

ISBN978-4-653-00549-0 [65/9] [92/2]

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

## 平戸記 1・2／妙槐記

〔増補史料大成 第32・33巻〕

■ A5判・クロス装・本文平均281頁・解題14頁・口絵4枚

全2冊 本体12,000円＋税

『平戸記』は参議民部卿、平経高の日記で、安貞元年より寛正4年に亘る。記事は概して簡単であるが、承久の乱、浄土教信仰の流行、朝廷関係等、重要な史実に関するものが多い。『妙槐記』は藤原師繼の日記で、寛元元年より文応元年に至る。大部なものと思われるが3冊のみ現存し、本書はそれに除目部類1冊と脱漏数篇を補って上梓した。

ISBN978-4-653-02385-2 [65/9] [00/6]

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

勘仲記 1～3  
冬平公記／匡遠記

〔増補史料大成 第34～36巻〕

■ A5判・クロス装・本文平均311頁・解題10頁・口絵5枚

全3冊 本体16,500円＋税

『勘仲記』は勘解由小路兼仲の日記で、健治元年から正安2年に及ぶもの。持明院大覚寺の闘争、弘安の役等に関する重要記事が多い。『冬平公記』は関白藤原(鷹司)冬平の日記で、改元の勘文、歌会、時會等の記事が現存する。『匡遠記』は左大臣小槻匡遠の日記で、伝えられているのは全くの残闕であるが、建武中興前後の政治史の好史料とされる。

ISBN978-4-653-02377-7 [65/9] [92/4]

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

# 康富記 1～4 親長卿記別記

[増補史料大成 第37～40巻]

■ A5判・クロス装・本文平均362頁・解題5頁・口絵7枚  
全4冊 本体22,000円＋税

『康富記』は中原康富の日記で、応永8年より永享年中に至る。康富は大外記の重職に在り、朝廷有職の任に当たっていたため、朝幕の大事に関する記事が多く、詩歌や世情についての記事等も取められ、興味深い史料となっている。『親長卿記別記』は、親長が関係した各種の文書類を集めたもので、庄園や賀茂両社の歴史等、重要な史料である。

ISBN978-4-653-02378-4 [65/9] [92/4]

増補史料大成刊行会編／矢野太郎解題

# 親長卿記 1～3／同補遺 宣胤卿記 1・2／同補遺

[増補史料大成 第41～45巻]

■ A5判・クロス装・本文平均356頁・解題7頁・口絵6枚  
全5冊 本体27,500円＋税

『親長卿記』は甘露寺権大納言、藤原親長の日記で、文明2年から明応7年に亘る。応仁の乱前後の社会、政治の情勢や宮廷の有様を伝える重要な記録。『補遺』には寛正7年の記事を取める。『宣胤卿記』は中御門宣胤の日記で、応仁の乱後の政界の動き、京都の事情等に詳しい。現存の寛正7年、文正元年、文明12年から永正14年までの23巻を復刻。

ISBN978-4-653-02379-1 [65/9] [01/5]

竹内理三編

# 愚管記

[増補續史料大成 第1～4巻]

■ A5判・クロス装・本文平均395頁・解題2頁・口絵10枚  
全4冊 本体18,000円＋税

北朝の公家第一人者のひとり、近衛道嗣の延文元年から永徳2年までの日記で、後深心院関白記とも称される。底本として陽明文庫蔵の26巻の写本を用い、文和3年の分を除目記で補った。更に『尚嗣公記』裏の康安2年具注曆に記入された日記の部分を翻刻により加える。文化史上、貴重な記事が多く北朝の宮廷、貴族生活を知るには不可欠の史料。

ISBN978-4-653-00443-1 [67/8] [89/7]

竹内理三編

# 晴右記／晴豊記

[増補續史料大成 第9巻]

■ A5判・クロス装・380頁・解題5頁・口絵4枚  
本体6,000円＋税

『晴右記』は、参議を経て権大納言正二位となった勤修寺晴右の日記である。永禄8年2月から7月、同10年11月から翌年2月、同13年正月から4月までの部分である。『晴豊記』は、勤修寺晴豊の日記で、天正6年9月から文禄3年までの部分である。晴豊は晴右の子で、武家伝奏の職にあった。当時の政治・社会の重要な事件を伝える貴重な日記。

ISBN978-4-653-00454-7 [67/8] [02/9]

竹内理三編

# 建治三年記／永仁三年記／斎藤基恒日記 親基日記／親元日記 1～4

[増補續史料大成 第10～12巻]

■ A5判・クロス装・本文平均438頁・解題10頁・口絵3枚  
全3冊 本体18,000円＋税

『建治三年記』は鎌倉幕府問注所執事三善康有の日記(建治3年正月～12月)。『永仁三年記』は同執事太田時連の日記と推定される(永仁3年正月～8月)。このほか、室町幕府政所寄人と同政所執事であった斎藤基恒・親基の日記『斎藤基恒日記』『斎藤親基日記』も収録。『親元日記』は同執事代蝮川親元の日記(寛政6年～文明17年)。

ISBN978-4-653-02734-8 [67/8] [01/5]

益田 宗校訂

# 碧山日録

[増補續史料大成 第20巻]

■ A5判・クロス装・241頁・解題11頁  
本体6,500円＋税

臨済宗聖一派の僧太極(法諱未詳)の日記。記事は長録3年(1459)から応仁2年(1468)に及ぶが、寛正5年・文正元年・応仁元年の記事は全く現存しない。昭和初年、東京帝大で辻善之助博士が使用された謄写刷テキストを全面的に補訂し活字印刷に附した。新組に際し、日ごとに記事を改行し、披覧の便を計った。

ISBN978-4-653-00784-5 [82/12] [00/2]

辻 善之助編

# 大乘院寺社雑事記

[増補續史料大成 第26～37巻]

■ A5判・クロス装・本文平均513頁・解題2頁・口絵19枚  
全12冊 品切  
〈普及版〉(並製) 本体19,000円＋税

興福寺大乘院門跡の尋尊、政覚、経尋らが記した日記・記録及び日記目録など約200冊を取めたもの。その大半は尋尊にかかるもので、記事は宝徳2年(1450)から永正15年(1518)に及び、応仁の乱をはさんで奈良を中心とした畿内の情勢が記され、室町時代の社会経済史、文化史研究に不可欠の史料である。

ISBN978-4-653-00472-1 [78/4] [94/4]

ISBN978-4-653-03783-5 [01/6]

辻 善之助編

## 多聞院日記 附蓮成院記録

〔増補續史料大成 第38～42巻〕

■A5判・クロス装・本文平均462頁・解題5頁・口絵5枚

全5冊 本体28,000円＋税

興福寺多聞院英後の日記を主とし、ほかに学賢房宗芸・別会五師宗栄などの日記、英後の回想録からなる。記事は文明10年(1478)から元和4年(1618)中の52年分であるが、大和一国に限らず中央の事件にもふれ、政治、経済、社会、宗教等多方面の豊富な記載は中世から近世への発展過程を知る絶好の史料。

ISBN978-4-653-00485-1 [78/5][02/2]

広野三郎編・解題

## 八坂神社記録

〔増補續史料大成 第43～46巻〕

■A5判・クロス装・本文平均543頁・解題40頁・口絵16枚

全4冊 本体28,000円＋税

京都八坂神社所蔵の古記録を編集した「八坂神社記録上・下」を4分冊にして復刊する。記載文書は社務の記事を中心とした社家記録(旧国宝)、祇園社の沿革史である社家条々記録(旧国宝)ほか三鳥居建立記、社家記録裏文書、祇園社記等で、貴重な古文書、古記録を収録、室町中後期の文化、政治、経済史研究に不可欠の書。

ISBN978-4-653-00491-2 [78/10][91/3]

益田 宗校訂

鎌倉年代記／武家年代記  
鎌倉大日記

〔増補續史料大成 第51巻〕

■A5判・クロス装・264頁・口絵4枚

〈書籍版〉品切 〈電子出版〉今夏配信予定

『鎌倉年代記』は寿永2年(1183)から正慶元年(1332)までの年代記で、各天皇の略伝、摂関・将軍・執権・連署・六波羅探題についての補任、略伝と裏書を収録。『武家年代記』は治承4年(1180)から明応8年(1499)までの年代記で、帝王・将軍・執権等の略歴並びに裏書を収める。『鎌倉大日記』も前二者と同類のもの。

ISBN978-4-653-00500-1 [79/9][93/2]